

清川あさみ個展「あめつちのうた」開催のお知らせ 【7/22～8/15】ふるさと洲本応援事業特別開催

2021年4月25日に兵庫県に発令された新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言により、開催を見送りとしておりました清川あさみ個展「あめつちのうた」の延期開催が決定しました。日程は2021年7月22日～8月15日(毎週火曜休館)、会場は当初の予定通り、淡路島のSBRICKにて十分な感染症対策をとりながら開催いたします。



あめつちのうた (2021)

淡路島は清川にとって自身のルーツとも言える地です。これまであまり公開することのなかった初期作品から、代表作「美女採集」、「TOKYO モンスター」、最新作「あめつちのうた」を含むおよそ40点の作品を展示します。

また、2021年は清川あさみアーティスト活動20周年の節目の年でもあります。本展覧会開催と清川へのお祝いコメントを、各界の著名人の方々よりいただいております。コメントは展覧会公式サイトにて公開中です。是非、ご覧ください。

▶<http://www.asamikiyokawa.com/ametsuchino-uta>◀

※本展覧会は、兵庫県洲本市(淡路島)のふるさと納税制度により寄付いただいた方々への謝意と、洲本市の魅力をPRする「ふるさと洲本応援事業」の一つとして開催いたします。

日本の始まりの地とされる淡路島。壮大で神秘的なこの場所で、みなさんの一緒に感じていただきたい作品を揃えました。人間と自然との新たな関わり方が求められている現在、自分たちが自然の一部であることを知ると共に、生命の美しさを讃え生まれた新作「あめつちのうた」。清川が、糸と糸をつなぎとめ、風や木、水や石、山や野、火や雷……。自然の要素のなかに息づく、小さな魂を持った存在を壮大に描いた約3mの大型新作は必見です。

会場となるS BRICK(エスブリック)は、明治時代に建てられた洲本市民広場にある旧鐘紡紡績工場跡の赤レンガ倉庫をリノベーションし、4/29にオープンしました。施設コンセプトは、島で暮らす喜びをシェアできる場所。SBRICKをはじめ、洲本市・淡路島でのひとときをお楽しみください。SBRICK▷<https://sumoto-brick.jp/>

展覧会概要

タイトル	ふるさと洲本応援事業特別開催 清川あさみ個展「あめつちのうた」
日程	2021年7月22日～8月15日
会場	S BRICK 〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋1丁目1-8
入場料	大人500円 小人無料(小学生以下)
時間	10時～18時
休館日	火曜
主催	兵庫県洲本市
協力	株式会社Dots、株式会社海空
問い合わせ	洲本市魅力創生課 Tel.0799-24-7641(平日:9時～17時)



※コロナウィルス感染拡大の影響や、その他やむを得ない理由で、展覧会開催内容は予告なく変更、また、会場内の密を避けるため、一度に入場できる人数を制限してご案内する場合があります。予めご了承ください。ご来場の際はマスクの着用をお願いします。発熱や咳症状など、体調が優れない方のご来場はご遠慮ください。コロナウィルス感染拡大防止対策のご協力をお願いします。



アニメーション「くにうみ」(2021)



わたしたちのおはなし「日本書紀」(2020)



貝合わせ「やくも」(2018)



「face」(2001)

清川あさみコメント

淡路島で生まれ、服飾を学ぶ為に1997年に上京しました。その頃の私にとって、東京は人やものや情報が集まるだけでなく、自分自身が表現者となる可能性に満ちた場所でした。上京した当日、原宿の路上でスカウトされ、始まった女性誌のモデルのお仕事もそのひとつでした。

モデルをしながら、他人から見た人の外面と内面の関係にその人の深層心理や社会状況がどのように影響するのか？ということに関心を持ちました。ファッション誌が扱う商業写真が「表」だとすると、「裏」に隠れたモデル自身の心の奥に興味を湧いたのです。

そして写真に刺繍をするという方法で、誰もが持っているコンプレックスなどをテーマにしたシリーズが「美女採集」、「Complex」、「Tokyo Monster」などになります。

糸は日常の様々な場面に現れます。刺繍をすると、どんな所にも物質感を伴ったイメージが現れます。そこには過去・現在・未来へと物語を繋ぐ力があると信じています。

世界中でCOVID-19が猛威を振るい、先の見えない不安が人々の間に広がるなか、希望の光を実感したのは、自分が生まれた場所に戻り、太古から変わらぬ海や朝日の美しさを目にした時でした。

国生み神話で知られるイザナギとイザナミは高天原の神々に命じられ、日本の島々を創成したと言われます。そのはじまりの島としても語られる故郷、淡路島から臨む海とそこに浮かび上がる朝日をモチーフに作品をつくりたいと思いました。

人間と自然との新たな関わり方が求められている現在、自分たちが自然の一部であることを知ると共に、生命の美しさを讃える「あめつちのうた」がうまれました。

この作品が、これからの私たちの新しい物語を紡いでくれることを願って。

清川あさみプロフィール



1979年、兵庫県・淡路島生まれ。東京を拠点に活動。服飾を学ぶと共に雑誌の読者モデルをしていた2000年代より”ファッションと自己表現の可能性”をテーマに創作活動を行う。雑誌やSNSなど、人々が日々関わる情報メディアやシステムが拡張する社会で、個人のアイデンティティを形成する”内面”と”外面”の関係やそこに生じる心理的な矛盾やギャップなどを主題とする。偶然「糸」が写真の上に重ねて置かれたのを見たことから着想し、モデルとなる人物を撮影して、その写真に直接刺繍するという独自の手法をはじめ。糸と写真のほか、雑誌や本、布やキャンバスなど、ミクストメディアによる多様なビジュアル表現を展開する。

代表作として「美女採集」「Complex」「TOKYO モンスター」などがあり、人がそれぞれ持つ人生のストーリーや、心の状態と社会状況の関係を作品化し、国内外の美術館で展覧会を多数開催。また広告・空間・映像・舞台のアート&クリエイティブディレクターとしても活躍する他、絵本作家としても活動を続け、谷川俊太郎氏と共作の絵本『かみさまはいらない?』は児童書の世界大会の日本代表に選出。故郷・淡路島の活性化にも積極的に携わる。

<http://www.asamikiyokawa.com>

本件の取材・掲載に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

●展覧会内容、清川あさみについて

ASAMI inc. 広報担当 中野 office@asamikiyokawa.com

●ふるさと洲本応援事業・会場詳細について

洲本市魅力創生課 0799-24-7641 (受付時間:平日9時~17時)